

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	123芸術・文化の振興		
施策のねらい(めざす姿)	地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。また、歴史、文化遺産が適切に保存、継承され、周知・活用されています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	狩谷 昭夫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	芸術文化の発表機会、鑑賞機会を引続き提供するとともに、芸術文化活動への参加を促す取組についても実施する。また、文化財の保護を推進するため新たな指定文化財について検討を行う。	③改革・改善内容	芸術文化の発表機会、鑑賞機会を引続き提供するとともに、より効果的、効率的に達成できるよう指定管理者制度の導入を目指す。また、新たに指定した文化財の周知を行う。
②①に基づく取組み結果	芸術文化の発表、鑑賞機会の提供を行うとともに緊急時の備えとして避難訓練コンサートを新たに開催した。また、新たに1件指定文化財として指定した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	①市民 ②文化財	意図(対象をどうするのか)	①地域に根ざした市民文化が想像され、その活動が広く展開されている。②歴史・文化遺産が適切に保存・継承されるとともに周知・活用されている。
②施策の概要	芸術・文化の振興を図るため、芸術鑑賞の機会を提供するとともに、文化創造事業を市民との協働により実施する。歴史・文化遺産を適切に保存・継承するとともに、教育普及を図るため市民との協働による国史跡周知普及事業や、歴史・遺跡に関する企画展、講座等を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	きらりホールへの来場者が増加していることをみると市民の芸術文化に対する関心が高まっていると推察でき、今後、指定管理者制度の導入により各指標の増が見込まれると考える。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	市民文化祭や歌舞伎、能などの鑑賞会、きらりホールでの自主事業などを実施するほか、新たに緊急時を想定した避難訓練コンサートを実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	市民文化祭等市主催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,725	1,353	1,352	2,800
	ii	指定文化財数	件	31	31	32	32
	iii						
③基本事業成果指標	i	市民文化祭参加団体数	団体	121	124	115	138
	ii	きらりホール自主公演観覧者数	人	5,854	5,130	4,545	4,200
	iii	きらりホール自主公演市民協力者数	人	79	112	83	100
	iv	市史等刊行図書数	点	58	58	58	60
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	191,701	183,313	(単位:円) 1,676 円		198,359		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	指定管理者制度導入後において、利用者の方々が不便と感じないよう、十分準備をして移行できるようにする。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	きらりホール自主事業数の減や市民参加型の公演数の減などにより指標が前年より減となったことによる。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	市民が良質な芸術文化に触れる機会を効果的に創出するためには指定管理者制度導入後の市の関わり方が重要であると考えたため。
③特に重点化する事務事業	きらりホールの管理運営に要する経費